

都市再生整備計画 事後評価シート
草津市中心市街地地区

平成31年3月

滋賀県草津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	滋賀県		市町村名	草津市		地区名	草津市中心市街地地区			面積	185.8ha	
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	7,274百万円	国費率	0.45			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(野村運動公園)									
		提案事業	地域創造支援事業(魅力店舗誘致事業、宿場街道景観形成事業)									
	事業名											
	削除/追加の理由											
	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高次都市施設(市民総合交流センター)		民間活力の活用を視野に入れ最適な整備手法の検討を行った結果、都市再生整備計画から暮らしにぎわい再生事業に移行し事業推進を図ることとしたため事業を削除する。				都市再生整備計画事業から関連事業へ位置づけが変わっただけであることから指標等への影響はない。			
		提案事業	地域創造支援事業(市民総合交流センター整備事業)		民間活力の活用を視野に入れ最適な整備手法の検討を行った結果、都市再生整備計画から暮らしにぎわい再生事業に移行し事業推進を図ることとしたため事業を削除する。				都市再生整備計画事業から関連事業へ位置づけが変わっただけであることから指標等への影響はない。			
	新たに追加した事業	基幹事業	市街地再開発事業(大路地区)		地方再生コンパクトシティの申請に伴い、事業内容について整合性を図る必要があることから、都市再生整備計画事業に移行し事業推進を図ることとしたため事業を追加する。				関連事業から都市再生整備計画事業へ位置づけが変わっただけであることから指標等への影響はない。			
		提案事業	地域創造支援事業(東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業、観光案内所改修事業)		東海道草津宿本陣通り景観重点地区内における歴史的な街並みを活かした景観形成やまちづくりを推進するため、建物・工作物等の修景整備に対して補助を行う。				当初から計画に位置付けられている宿場街道景観形成事業の一部が別事業として位置付けられただけであることから、指標等への影響はない。			
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				なし				
	変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	歩行者通行量	人/日	11,067	H24	11,709	H30	12,967	○	あり	空き店舗を活用した魅力店舗誘致事業、本陣周辺エリアにおける景観を活かした改修事業、niwa+(ニワタス)や草津川跡地公園de愛ひろばの整備等によりまちなかの魅力が向上し、新たな回遊性を創出した。	-
	指標2	空き店舗率	%	10.4	H24	9.5	H30	9.3	○	あり	空き店舗を活用した魅力店舗誘致事業や、景観形成を目的とした改修工事に対する助成、草津川跡地公園de愛ひろばの整備により、まちなかの魅力が向上し、空き店舗率が改善した。	-
指標3	福祉・文化・交流施設の利用者数	人/年度	448,760	H23	498,512	H30	468,617	△	あり	魅力店舗誘致や景観形成事業によるまちなみの魅力向上、都市利便増進協定の活用や草津川跡地公園de愛ひろばの整備により指標の改善には効果があった。しかし、くさつシティアーリーナ建設事業の進捗の遅れ、人権センターの移転に伴う貸館機能の終了、北中西・栄町地区市街地再開発事業の進捗の遅れ等により目標を達成で	平成32年6月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1											
その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	草津市中心市街活性化協議会において、地域住民や関係団体に事業内容の報告や意見聴取を行った		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、中心市街地の活性化に向けて官民協働による事業の展開を図っていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	官民連携による事業推進を図るため、草津市中心市街活性化協議会を設立(平成25年3月27日)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、中心市街地の活性化に向けて官民協働による事業の展開を図っていく。				

様式2-2 地区の概要

中心市街地地区(滋賀県草津市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:「元氣と潤いのある生活交流都市の創造」		歩行者通行量	単位:人/日	11,067	H24	11,709	H30	12,967	H30
目標1:歩いて楽しい回遊性の高いまち		空き店舗率	単位:%	10.4	H24	9.5	H30	9.3	H30
目標2:個性的で魅力のある店舗が集積するまち		福祉・文化・交流施設の利用者数	単位:人/年度	448,760	H23	498,512	H30	468,617	H30
目標3:幅広い世代が交流するまち									



▲地域創造支援事業:
観光案内所改修事業



▲都市利便増進協定による取組み





▲北中西・栄町地区市街地再開発事業(2020年2月竣工予定)



▲公園:野村運動公園整備事業(整備中)



▲地域創造支援事業:
宿場街道景観形成事業



▲地域創造支援事業:
東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業



▲地域創造支援事業:
魅力店舗誘致事業

まちの課題の変化

- ・整備が遅れている北中西・栄町地区市街地再開発事業および(仮称)市民総合交流センター整備事業を継続して進める必要がある。
- ・各拠点整備事業の効果がエリア全体に波及しきれていない。
- ・依然として本陣周辺エリアにおける空き店舗率と高齢化率は高く、衰退傾向にある。
- ・地域住民を巻き込んだ景観意識の向上等の取組が必要である。
- ・また、事業効果が中心市街地全体へ有効に広がるように、各拠点間をつなげるような取組の実施が必要である。
- ・新たな拠点施設として(仮称)草津市立プールを中心とした(仮称)くさつアควアパーク整備事業の推進。
- ・北中西・栄町地区市街地再開発事業に伴う民間駐輪場の閉鎖と周辺地域の人口増加により、駐輪場が不足している。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)と整合性を図りながら都市再生整備計画事業を推進する。
- ・事業による整備効果が継続するように草津まちづくり株式会社をはじめとした民間事業者と連携しながら取り組んでいく。
- ・引き続き、本陣周辺エリアにおいて歴史的な資源を活用した事業を実施する。
- ・さらなる魅力向上のため、草津まちづくり株式会社による空き店舗所有者と新規出店希望者をマッチングさせるなど、テナントミックス事業を継続する。
- ・草津川跡地公園de愛ひるば、niwa+(ニワタス)、くさつシティアリーナ等、供用済の施設から順次、各拠点間をつなげるような取組を実施する。
- ・計画期間内に整備が完了しなかった「北中西・栄町地区市街地再開発事業」および「(仮称)市民総合交流センター整備事業」を推進する。
- ・歴史的な町並みを活用し、東海道沿道の無電柱化事業を実施することで、本陣周辺エリアのさらなる魅力向上を図る。
- ・駅周辺エリアにおける各事業効果を本陣周辺エリアにまで波及させる。
- ・草津市中心市街地活性化協議会を中心に地域住民と連携した取組を展開する。
- ・不足している駐輪場を草津駅周辺に整備する。
- ・市民が気軽に集い交流できるように、(仮称)市民総合交流センター整備事業や草津アミカホール・トレバリアフリー化事業を推進する。
- ・安全安心に散歩できるように市道管理用カメラの設置や公衆便所の更新により回遊性の向上を図る。
- ・駅西エリアにおける新たな拠点として(仮称)草津市立プールを中心とした「(仮称)くさつアควアパーク」の整備を進めるとともに、くさつシティアリーナや草津川跡地公園と連携した取組を展開し、回遊性の向上を図る。